

バイオクライマティックデザイン小委員会 2007 年度 第 1 回 議事録

- A. 日時： 2007 年 5 月 25 日（金）17:00～18:00 委員会  
場所： 東京ガス 1102 会議室（新宿パークタワー center 棟 11F）
- B. 出席者： 伊香賀俊治（慶應義塾大学）、池澤知子（首都大学東京）、  
岩松俊哉（武蔵工業大学）、Stephen WITTKOPF（National University Singapore）  
岡田英雄（フジサンケイビジネスアイ）、川久保俊（慶應義塾大学）、  
小玉祐一郎（神戸芸工大）、小室芳伸（(株)千代田設計）、  
鈴木晶子（首都大学東京）、須永修通（首都大学東京）、  
豊崎寛樹（神戸芸術工科大学）、Noor HANITA（International Islamic University Malaysia）、  
坪内茂（(株)アクアヒート）、堀口純一郎（フォーユアプランニング（株））、  
シュバイカ・マーセル（武蔵工業大学）、宇野朋子（東京文化財研究所）：  
16 名（敬称略、順不同）
- C. 資料： 07-1-1 バイオクライマティックデザイン小委員会 第 6 回 議事録（案）：菅原  
07-1-2 第 2 回新エネルギー世界展示会 出展案内：岡田  
07-1-3 WITTKOPF 先生のご紹介：伊香賀
- D. 審議事項：
1. 前回議事録確認→次回に
  2. RE2007（第 2 回新エネルギー世界展示会）への協力
    - ・岡田英雄氏より 2007 年 10 月 10～12 日に開催される RE2007 についての説明があった。
    - ・本委員会に対して、省エネルギー建築などに関するセミナーの開催、トピックスの検討について、協力が求められた。  
本委員会としては、関連する分野に積極的に参加する。  
6 月より事務的な活動を開始する。  
共生建築セミナー（案）の実施を検討中。  
→その後の話し合いで、集合住宅の改修・リニューアルをテーマとしてセミナーを行うことが決定。当初予定されていた、本委員会からのバックアップはなし。
  4. WITTKOPF 先生による講演  
自然照明と建築を一体化した太陽光発電システムを取り入れたサステナブル建築のデザインと評価がご専門です。本年、9 月にシンガポールで開催される PLEA の委員長をされています。CASBEE の開発評価、普及状況の調査研究、CASBEE で評価された建築事例の共同研究のため、慶応大へ来日されました。  
サステナブル建築に関する事例、自然照明の利用と建築のデザイン評価についてご紹介頂きました。  
WEB：<http://www.arch.nus.edu.sg/akiskw/> 上にデザインやシミュレーション結果を紹介、デ

ザインツールとしての利用を目指す。

Q デザインツールとして使用しているソフトウェアは何か。

A Flash、Energy Plus (?) を使用している。

Q 作成期間は。

A 5年前より作成している。紹介した建築については、半年。

5. HANITA 先生による講演「Passive Design Strategies to Induce Ventilation in Terrace Houses in Malaysia」

現在、京都大学と共同研究をされています。

マレーシアの伝統住宅でのパッシブデザインと室内環境や、伝統住宅と都市型住宅のテラスハウスとの環境の比較から、テラスハウスでの換気・通風デザインの提案についてご紹介頂きました。

Q InTA について教えてください

A 「International Tropical Architecture」。(東南) アジア地域の建築についての国際会議。次年度はマレーシアで開催予定。

Q 伝統建築での風の流れはどうなっているのか

A 高床は、おしゃべりや仕事、リラクセスの場所として使用されている。

Q モダン住宅は、窓が小さすぎないか。窓のサイズはどのように決定するのか。

A 窓を小さくすることで、直達日射による熱取得を減らすことが可能。熱取得解析と CFD 解析によって最適なサイズが求められている。

E. 次回委員会の予定：

日時：2007年8月3日 18時から

場所：建築会館

内容：①出版に向けての体制づくりと進め方

②RE2007 展示会での開催されるセミナーについて

文責：宇野朋子 2007年8月3日